



清 泉

令和7年1月28日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

足りないものとどう向き合うか？

私が30歳代の半ばごろの話です。そのころ、私は「ひっし」だったと思います。いつも誰かと比べて、自分に足りない（自信がない）ものを探し、補おうと「ひっし」だったと思います。「ひっし」って音だけで聞くとすごく頑張っているいいイメージがありますが、漢字にしてみるとそうではなさそうです。そのころに担任していたある生徒が二十歳のお祝いの会で私にこう言ったのです。「先生、あのころ、自分に自信がなかったでしょ？先生はそのままでも十分だよ。頑張りすぎないこと！」と。その時、ふと思い出したことがありました。それは、この生徒が在学していた当時の先輩の先生から「コンプレックスは人を成長させるんですよ。だから、あなたは成長できるよ。」と声をかけられたことを。

そのころの私はどんな「顔」をしたのでしょうか。そして、この文章を書きながら改めて思うのです。さりげなくみんなが私を支え、気づかせてくださった人たちがいたのだと。有難いことです。

先週土曜日、学校公開がありました。約300名のみなさまにご来校いただき、ありがとうございました。また、地域のみなさまを講師としてお招きし「地域の人話を聞く会」を実施できました。普段接している大人と違う方からお話を聞く貴重な機会をいただきました。感謝申し上げます。さらに今年は試みとしてプチ作品展も併設しました。作品展の定番、美術科や技術科の作品、国語科の書写（書初め）、総合的な学習の時間のレポートに加え、現在の学校教育に求められている「新しい学び」に関わる作品も展示しました。数学科の「座標の学び（1年）」、国語科の「語彙の活用「なぞかけ」（2年）」、社会科の「市政への提案（3年）」等々。もちろん、授業も「一方的な教え込み」から、生徒の主体性に基づく授業へと変化していく様子を見ていただけたのではないのでしょうか。これからもチャレンジすることを前向きに楽しみながら、みなさまにも楽しんでいただけるよう努めていきます。

*本校の学校公開に際して保護者・地域のみなさまから様々な視点からの温かい
お声をいただきました。本校の教育の充実のために生かしていきます。



〔ちょっと、視点を変えて＜報道から（一部省略）＞〕

魅力ある昭島市を目指して・3年社会

今月の21日（日本時間22日）、米野球殿堂入りしたイチロー氏は会見で「1票足りないのはすごく良かったと思います。足りないものを、これって補いようがないんですけど、努力とかじゃないからね。ですけど色々なことが足りない。人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが、人生だと思うんですね」と心境を明かした。さらに「これとそれはまた別な話なんですけど、不完全であるというのはいいいなって。生きていく上で不完全だから進もうとするわけで。そういうものを改めて考えさせられるというか。見つめ合える、向き合えると言うのは良かったなと思います」と語った。

私は、管理職になってから3年生の面接練習で必ず聞くことがあります。「将来の夢」と「3つの自分の強み・よさ」。この質問は受検（験）のためだけに聞いているわけではありません。自分の強みやよさを自分自身が知っていることの強みが絶対にあり、併せて、こうなりたいというイメージ（漠然とでもいいので）があることが、主語「自分」として生きていく原動力になると考えています。他者と比較することはないのです。（なかなかその境地には至らない私ですが）生徒たちにはそんな生き方もいいんじゃないかと発信していきたいと思います。（今回も漠然とした話で申し訳ございません）